

十和田市の未来を考える

今号では、市民図書館が所蔵する本の中から、ゆっパル編集委員が選んだ本市の未来を考えるきっかけになりそうな本を8冊紹介します。

持続可能なまちづくりや人口減少などの課題、多様性を尊重した社会のあり方など、いろいろな本に触れながら本市の未来について考えてみませんか。

ゆっパルの由来

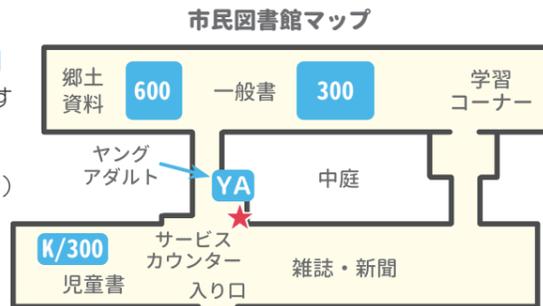
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。『一人一人の思いが結びついて仲間をつくる』という願いが込められています。

十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員によるコーナーです。



紹介する本は、**分類番号**ごとに書棚に並べています

3月1日(日)~31日(火)は特設コーナー(★の位置)に展示します



少人数で生き抜く地域をつくる

佐久間 康富、柴田 祐、内平 隆之 || 編著 学芸出版社

分類番号 611/シ
農山村地域をはじめ人口減少が止まらない日本。現状にあらがうのではなく受け入れて、少人数でも暮らしを持続する各地の試みを紹介。多角的な切り口で、地域住民と外部人材の双方による世代の継承を展望する。

◆編集委員から一言
サークルもボランティアも少人数・高齢化で継続困難、閉鎖という状態とネガティブな現代。悪状だからこそ、助け合い生き抜く輪にしよう。

まちを創る青少年

大田 順子、福留 強 || 著 東京創作出版

分類番号 379/オ
青少年に豊かな生活体験をさせることができる、まちづくり。青少年がまちづくりに参画する教育的意義や参画の方法、全国の青少年によるまちづくり事例、学校と地域の連携などについて解説する。

◆編集委員から一言
少子高齢化社会が進む地方自治体が青少年のパワーを生かし、まちづくり参画に導いている全国各地の事例は興味深い。

未来からの伝言 SDGsガイドブック

那須田 淳 || 作 梶山 直美 || 絵 講談社

分類番号 K/333/ナ
「子ども近未来研究室」に迷いこんだ小学5年生の紗綾たち。そこで、アバターと出会い「SDGs」について話し合うことになり…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

◆編集委員から一言
思い通りに出来ぬ現実をどこでもドアにしたくなる。ムードが良い方法に変わるかも…

わくわく! 納得! 手話トーク

松岡 和美 || 著 高野 乃子 || 絵 くるしお出版

分類番号 378/マ
「本当の手話」ってどれ? 手話をやると表情豊かになる? 手話は世界共通じゃないの? 手話のしくみや手話を使用するコミュニティの話を、マンガやコラムを交えてわかりやすく解説する。

◆編集委員から一言
初めて手話に関心を持った人にもわかりやすいマンガ・コラムでの紹介もあり、手話の不思議さと面白さが伝わる。



わたしはわたし。あなたじゃない。

鴻巣 麻里香 || 著 リトルモア

分類番号 YA/371/コ
「みんな仲良く」の呪い、毒親、ブラック校則、スマホルール、デートDV…。中高生のリアルなエピソード15話を通して、人権・同意・バウンダリー(他者との間に引く、越えてはならない境界線)の大切さを伝える。

◆編集委員から一言
未来は一人じゃつくりたくない。だからこそ誰かのために自分を後回しにしない、心を守る線の引き方が大事です。きっと大人にも。



全予測 2020年代の日本 図解・未来の年表

河合 雅司 || 著 講談社

分類番号 334/カ
介護難民と介護離職、地方の「消滅」…。これからの日本はどうなる!? 人口減少日本の真実を描いた「未来の年表」シリーズ3冊の要点をまとめ、最新データを盛り込んだ図解版。

◆編集委員から一言
人口が多い日本から、コンパクトな国に戦略的な効率の転換、匠の技の活用、生活の多様性を認める社会の転換の縮小のアドバイスが印象的。



とびこえる教室

星野 俊樹 || 著 時事通信出版局

分類番号 370/ホ
ずっと生きづらさを抱えてきた教師は、学校に潜む性別役割分担に疑問を持ち、子どもたちに「ふつうとは何か?」を問い続ける。日本のごく片隅で、しかし確かに社会を変容させた、教師と子どもの実践の記録。

◆編集委員から一言
未来を考える時、自分の思う「ふつう」や「あたりまえ」が呪いになってしまいます。常に学び、対話し、改めていきたいです。



東大塾 これからの日本の人口と社会

白波瀬 佐和子 || 編 東京大学出版会

分類番号 334/ト
持続可能な成長型超高齢社会に向けて、都市、地域、外国人を「規模」の観点から、職場、家族、病院・医療を「場」の観点から、雇用と社会保障を「制度」の観点から論じる。社会人向け連続講座「グレーター東大塾」を書籍化。

◆編集委員から一言
専門家の講義も載せられ、自分が講義を受けている感覚になりました。理論と具体的な社会的な課題への解決策も書かれています。

ホットな一句



今回紹介した本には、本市の未来を考えるための多彩なテーマが含まれています。市民図書館では、他にもさまざまなジャンルの本を読むことができますので、本を通して多様な知識や考え方を参考にしながら、一人一人が本市の未来について考えてみませんか。

◆◆ 編集後記

- この地域の未来を考え、これからの暮らし方をリアルに考えました。コンパクトでも幸せ感のある十和田市になればいいな。
- あるコンビニで「宮下県知事と青森県の未来を語ろう」ポスターが掲示されていた。ポジティブな十和田市を願いたい。
- 子どもたちや関わる大人にとって「考え方の幅を広げる」「選択肢が増える」そんな本と出会えてもらえたらうれしいです。
- 昨今デジタル化が進んでいますが、書籍は、書体・イラスト・装丁に、紙の本ならではの良さも感じます。

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員
岩木 節子、木村 奈生美、杉浦 すずめ、田中 直子
発行 総務課 広報男女参画係
☎0176-51-6702